

第32回 全国高等学校ロボット競技大会 栃木大会(Q&A)

項目	NO.	Q	A	更新日
競技方法	Q-1	(1)流鏝馬奉納を伸縮の竿のようなもので行う場合、竿の先端に流鏝馬を落下させる機構を駆動させるリード線が垂れて、宇都宮エリアに触れた場合どのような措置になりますか。	(1)竿の先端に流鏝馬を落下させる機構を駆動させるリード線が垂れて、宇都宮エリアに触れても問題ありません。	2024.9.3
実施規則	Q-2	(1)競技者は安全メガネ(保護メガネ又はゴーグル)を着用するようになっていますが、メガネを着用している生徒もメガネの上から保護メガネをしなければいけませんか。メガネが保護メガネの役割をするとして考えてよいのでしょうか。	(1)安全対策のため、視力矯正用メガネ等を使用している競技者についても、安全メガネ(保護メガネ又はゴーグル)の着用をお願いします。	2024.9.4
ロボット仕様	Q-3	(1)展開時の部品落下について、ロボットが展開する際、部品が競技コート内に落ちる仕様となっているのですが、この行為は実施規則p3の「キ 各々のロボットの分離は認めない。」に抵触しますでしょうか。	(1)ロボットの展開時に、ロボットから完全に分離する部品がある場合は、「キ 各々のロボットの分離は認めない。」に抵触し、リスタートとなります。ただし、意図しないネジ等の落下については抵触しないものとします。	2024.9.14
実施規則	Q-4	(1)制御方法について、無線通信は環境によって不具合が生じることがあります。それにより、公式練習の際に無線通信がうまく行かないことが発生する恐れがあるかと思われます。その場合、公式練習の後に有線通信に変更する行為は認められますか。	(1)公式練習の後、予選前の車検までに無線通信から有線通信に変更することは可能です。	2024.9.14
	Q-5			
	Q-6			
	Q-7			